

2024年度  
学校自己評価報告書  
(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年5月17日  
学校法人神戸学園  
神戸動植物環境専門学校

## 目 次

I. 学校の現況

II. 評価の基本方針

III. 重点目標

IV. 評価ごとの記述

V. 評価項目

1. 教育理念・教育目標

2. 学校運営

3. 教育活動

4. 学習成果

5. 学生支援

6. 教育環境

7. 学生募集

8. 財務

9. 法令等の遵守

10. 社会貢献

## I. 学校の現況

### 1. 学校名

動植物環境専門学校

### 2. 所在地

兵庫県神戸市東灘区向洋町中1-16

### 3. 沿革

学校設置認可年月日 神戸動植物環境専門学校 昭和63年10月5日

昭和63年 神戸パストゥール・バイオ専門学校工業専門課程として認可を受ける

平成元年 財団法人ルイ・パストゥール医学研究センターの唯一の提携教育機

関として「神戸パストゥール・バイオ専門学校」開校。

以後、多くのバイオテクニシャンを輩出。

平成14年 専門学校アートカレッジ神戸が学校法人神戸学園に設置者変更し、姉妹校となる。

平成15年 校名を「パストゥール・バイオ専門学校」から「神戸動植物環境専門学校」に変更。生命科学科を設置。兵庫県下でははじめての動物系の認可を受けた専門学校となる。

平成19年 高等課程設置認可アニマルサイエンス学科（3年制）を設置

平成25年 兵庫県内で最大の動物系専門学校となる

平成26年 理事長 蔣 惠萍 就任

平成27年 学校法人神戸学園創設50周年オープニングセレモニー開催

平成28年 学校法人神戸学園創設50周年エンディングセレモニー開催

平成29年 学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸

新規学科 国際コミュニケーション学科を設置

平成30年 学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸

新規学科 観光学科設置

令和元年 学校法人神戸学園神戸動植物環境専門学校

実習施設 神戸学園水族館 AQUATEXT 設置

神戸学園高等課程

総合アート学科 ゲームコース設置

台湾 樹徳科技大学 来校 交流学习 5/24

令和2年 学校法人神戸学園 大規模修繕工事実施

学校法人神戸学園神戸動植物環境専門学校

実習施設 トリミングスタジオ LIEN 設置

学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸

新規学科 通信制学科設置

- 令和3年 学校法人神戸学園創設 55 周年記念式典開催  
 神戸動植物環境専門学校 久元喜造神戸市長 校内講演会開催 10/15  
 専門学校アートカレッジ神戸  
 新規学科 DX ビジネス学科設置  
 第1回 AKI 神戸キャリアフォーラム®2021 を開催
- 令和4年 学校法人神戸学園動植物環境専門学校  
 新規学科 動物看護師学科設置  
 愛玩動物看護師養成機関の認可を受ける  
 第2回 AKI 神戸キャリアフォーラム®2022/DX フォーラムを開催 12/8  
 オードリー・タン大臣講演
- 令和5年 学校法人神戸学園  
 専門学校アートカレッジ神戸  
 第3回 AKI 神戸キャリアフォーラム®2023/DX フォーラムを開催 8/7  
 オードリー・タン大臣基調講演パネルディスカッションオンライン登壇  
 JAL×ANA 対談 開催  
 神戸動植物環境専門学校  
 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 展示ブース出展
- 令和6年 学校法人神戸学園専門学校アートカレッジ神戸  
 国際コミュニケーション学科、観光学科が職業教育実践専門課程の認可を受ける

#### 4. 学科の構成

##### 専門課程

- ・工業専門課程
- 生命科学科
- 動物看護師学科
- 研究科

##### 高等課程

- ・工業高等課程
- アニマルサイエンス学科

#### 5. 学生数及び教職員数(専門課程)

- ・2024年5月1日時点学生数： 461名
- ・2024年5月1日時点職員数： 40名

#### 6. 施設の概要

学校建物面積：2,810 m<sup>2</sup>

学校土地面積：2,845 m<sup>2</sup>

## II. 評価の基本方針

自己評価は、本学の使命である学生・保護者満足を目指し、日々着実に経営し、職業教育を行うことで、その成果として業界への就職実績を上げるといった目的に対して、それぞれの項目ごとの進捗を判断するものとする。

## III. 重点目標

### 1. 学生募集への積極的な取組

定員数を充足する学生の入学を実現する。

### 2. 社会への即戦力を輩出するための実践的な教育の実現

①教育理念・教育目標の周知徹底を図り

②教育環境を整え

③日々の教育活動を通じて

④学習成果を高め、具体的には学生の出席率の向上及び退学除籍率の低減を実現する。

### 3. 学生の就職率の向上

学生支援を通じて、卒業生の就職率の向上を実現する。

### 4. 適切な学校運営法令順守等

適切な学校運営を行うとともに、法令順守体制を整える。

## ■評価項目

1. 教育理念・教育目標

2. 学校運営

3. 教育活動

4. 学習成果

5. 学生支援

6. 教育環境

7. 学生募集

8. 財務

9. 法令等の遵守

10. 社会貢献

## 項目評価

### 1. 教育理念・教育目標

自己評価項目	評価
教育理念・教育目的は、学校の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性がある。	4
教育理念・教育目的は、具体的に明示され、実際の指針となっている	4
教育理念・教育目的は、社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
教育理念・教育目的は、特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

神戸動植物環境専門学校は教育基本法および学校教育法に基づき高等学校における教育の基礎の上に工業専門課程を設置し、「動物が好き、ひとが好き、学校が好き」の基本理念を掲げ、教育に携わっている。この教育理念は、第一に授業（カリキュラム・シラバス）、第二に就職指導として具現化している。

### 2. 学校運営

自己評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

所轄庁である兵庫県との連絡を密にするため、担当者を設置し、所轄庁からの通知に対して、即座に本部及び学内組織で共有を図り、活動においての定例の会議を開催し報告を実施している。また令和5年より実施される愛玩動物看護師資格試験の所管となる生活衛生課との連絡も密に取り合い学科設置に向けた取り組みを行った。

法律顧問弁護士を設置し課題が起こった際の即座の質問を行える体制をとっている。

### 3. 教育活動

自己評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4

教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

カリキュラム・シラバスについて、動物福祉学的な観点から実施をし、学生一人ひとりの個性を尊重したキャリアプランを立てることで「動物が好き、ひとが好き、学校が好き」の基本理念を浸透させている。また、各クラスにおいて専門分野で必要な実技科目を取り入れ、社会で必要な技術や知識といった能力に焦点を当てた授業を行っている。このようなアプローチはアクティブラーニングの潮流に合致するものでもあり、主体的・能動的な態度をもった学生の育成に資すると考えている。

就職指導について、インターンシップや就職活動の際に飼育動物の適正な管理法や扱い方、動物業界の現状など多くの場面で問題や葛藤に直面する。その問題解決や葛藤を乗り越えるために、「動物が好き、ひとが好き、学校が好き」という理念にもとづいたサポート・指導を行っている。これは、動物業界の理解につながり、将来の動物業界に求められる人材の育成にもつながっていると認識している。

#### 4. 学習成果

自己評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3

卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
---------------------------------------	---

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

令和5年度の卒業生179名 就職した人数156名となった。

通学が困難な学生に対しては、一定期間の休学期間を通じた療養を進めている。

卒業生・在校生の社会貢献に関しては、地域社会とのつながりを通じて地域行事へのボランティア参加及び幼稚園保育園への動物との触れ合いを行うボランティア活動など幅広く交流を進めている。これら活動により社会への貢献意識を育てる活動としている。

## 5. 学生支援

自己評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

神戸動植物環境専門学校では、毎年11月に1年生を対象に動物業界セミナーを開催し、動物園、水族館、動物病院や動物にかかわる様々な職種の人事採用担当者を一堂に招き、キャリアセミナーを開催している。

これは1年次からの就職活動と社会への貢献の意識を醸成するための取り組みであり様々な企業との長年にわたる関係の構築も完成されている。

動物業界企業とのつながりが学生の就職率の向上に寄与しているものと思われる。

また各ゼミにおいても実習として職場での就労体験を行わせ、体験の前の保護者との誓約書の締結など学生を支える保護者の理解を深める努力を行っている。

## 6. 教育環境

自己評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4

防災に対する体制は整備されているか	4
-------------------	---

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

神戸動植物環境専門学校は、社会への即戦力を輩出するための実践的な教育の実現のための取り組みとして、最先端の現場に即した施設環境を具現化している。一例として、優れたトリマーを輩出するために、2019年8月には「アクアテキスト」、2020年6月には「トリミングサロンリアン」を校内に設置した。これは実際的水族館やサロンと同じ環境・設備のものとなっている。こういった実践を身につけることの出来る設備環境と、基礎的な知識を身につける座学を組みあわせることで、学習効果を高めている。さらに、学生の出席率の向上および退学除籍率の低減のために、一人一人の面談時間を確保し、希望を聞き進路に対する意欲を醸成することに務めた。

## 7. 学生募集

自己評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

兵庫県内の高等学校への訪問を強化し、4月から翌年3月にかけて各月進路担当者及び学校長に訪問し、本学の学校説明や教育方針・就職活動等を伝えると共に、入試制度やオープンカレッジ等のイベントの案内を行った。

オープンカレッジとオンラインツールを利用した進路相談会を実施した。さらに、兵庫県内を中心として夏以降、ガイダンス業者主催の校内ガイダンスや会場ガイダンスに参加した。

各種媒体による広報は、パンフレット、募集要項、ホームページ、各種ポスター、SNS・YouTube等、不特定多数に情報発信している。本学の魅力や実績を伝えられる広報物を、入学対象の生徒に見てもらい、本学を選ぶ手段の一つとなるよう製作し、紙媒体の広報物は資料請求者および高等学校関係機関に配布した。

医療（動物看護師学科）、美容（トリミング）、アクア（水族館ゼミ）を中心に入学者数を伸ばしていった。

## 8. 財務

自己評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

学校法人神戸学園は本部を東京に配し、財務計画を立てている。予算収支は計画通りに遂行され、監査法人による監査も毎年行われており、財務面での問題はない。

## 9. 法令遵守

自己評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

遵法意識を持ち、義務と責任の下適切な運営を行っている。

顧問弁護士との適宜打ち合わせを行っており、事故や課題が生じた際には意見を伺いながら対処を行っている。

また再発の防止についても専門機関に意見を聞きながら遂行している。

## 10. 社会貢献

自己評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

(4)適切(3)ほぼ適切(2)やや不適切(1)不適切

飼育動物であるヤギを使用した地域行事の除草活動の啓蒙など、恒例行事として学生がボランティア活動を行っている。

また年に1~2回 学生運営の神戸学園水族館アクアテキストを地域住民を中心として解放を行い、地域の方々から喜ばれている。